



らぶく
La・Book

2月号

No.80

三郷図書館

もうすぐ 1周年!

3月10日(日)に三郷図書館は、開館1周年を迎えます。仮設図書館の時には約39,000冊だった蔵書数は、今では約43,000冊となり、今後、53,000冊を目標に段階的に増やしていきます。

今年度は、地域色豊かな図書館講座や月2回のおはなし会を開催したり、広々としたスペースを利用したタイムリーなテーマ展等を切れ間なく企画したりしてきました。また、「ゆりのき」ギャラリーを利用



音楽コンサート

し、図書館講座の展示や交流学习センターと連携した音楽コンサートも開催し好評でした。

利用者数は、昨年度の3倍に増加していますが、平日の利用を増やすこと、小中学校が近い立地条件から児童書を更に充実させていくこと、そして小中学校との更なる連携が今後の課題だと思っています。



ハーバリウム講座作品
(三郷文化産業展に展示)

単に「新しくてきれいな図書館」だけではなく「利用しやすく、対応も親切・丁寧で快適な図書館」を今まで以上に目指していきたいと思



図書館講座

います。

堀金図書館

奮闘!調べもの日記(レファレンス)

「亥の子(いのこ)祭り」について

今年「亥年」。古代中国の十二支の動物が、方位や年、月、日、時刻など暦にあてはめられて使われました。その中で、旧暦10月の亥の日に行われるのが、秋の収穫を祝う行事「亥の子」です。イノシシの多産にあやかり子孫繁栄を祈り「亥の子餅」を食べ、田の神に感謝する祭りとして祝うようになりました。

西日本では「亥の子」、関東や東北地方では「十日夜(とおかんや)」と言い地区の子どもたちが民家の庭先に行き、亥の子石(写真)で地面を突いたり、わらを束ねた棒でたたいたりする風習があります。その時の歌は地方により異なります。

中国地方では『亥の子 亥の子 亥の子の宵さに 亥の子餅をつかん者は鬼を生め、蛇を生め、角の生えた子を生め』とはやし、餅や菓子をもらった子どもたちは「繁盛せえ、繁盛せえ」と縁起をかついだ内容が多いそうです。



<関係資料>

- 『家族で楽しむ 歳時記・にほんの行事』
近藤珠實/池田書店 2008年
- 『47都道府県・伝統行事百科』
神崎宣武/丸善出版 2012年
- 『神さまやどる暮らしのしきたり』
きさいち登志子 久保田裕道/主婦と生活社 2014年
- 『季節のなかの神々 祭事民俗考』
小池淳一/春秋社 2015年
- 絵本『いのこまつり』
谷真介/文 赤坂三好/絵佼成出版社 1991年

私と図書館

戦国時代を知りたい

(小4 歴史好き男子)

ぼくは、大河ドラマ「真田丸」を見てから、歴史、特に戦国時代が大好きになり、図書館でも歴史や戦国武将の本を借りて読んでいます。

「『真田十勇士』を読んでみたら」とお母さんが言うので借りましたが、ぼくは、作ったお話より、武将たちの得意な武器や戦術を知る方が好きです。

本を読んで、武将たちが家や子孫を残すために、敵方に家族を送りこんだりしているのを初めて知りました。家族はかわいそうだけど、戦をするだけでなく、いろいろな駆け引きをしていることがおもしろいと感じました。

今は、武将たちのかぶとに興味があって、かぶとの「前立て」について図鑑を借りて調べています。

有名な武将には軍師とか剣ややりの使い手が味方にいるので、その人たちの活やくについて知りたいです。これからはたくさん歴史の本を読みたく思います。



1月予約ランキング

一般書

- 1 宝島／真藤順丈
- 2 昨日がなければ明日もない／宮部みゆき
- 3 一切なりゆき／樹木希林
- 〃 本と鍵の季節／米澤穂信
- 5 つくもがみ笑います／畠中恵
- 6 キンモクセイ／今野敏
- 〃 妻のトリセツ／黒川伊保子
- 〃 カササギ殺人事件 下／アンソニー・ホロヴィッツ
- 9 神様は小学5年生／すみれ
- 〃 ある男／平野啓一郎
- 〃 コヨーテの翼／五十嵐貴久 他多数

児童書

- 1 おしりたんてい プックおおどろぼうあらわる！／トロール
- 〃 風と行く者／上橋菜穂子
- 〃 仮面ライダー大図鑑／ポプラ社
- 4 オニのサラリーマン／富安陽子
- 〃 オリンピックのおばけずかん／斉藤洋
- 〃 かいけつゾロロロボット大さくせん／原ゆたか
- 〃 怪談5分間の恐怖 見てはいけない本／中村まさみ
- 〃 ざんねんないきもの事典／今泉忠明
- 9 あなたがとってかわいい／みやにしたつや
- 〃 おしりたんてい／トロール 他多数

AV資料

- 1 BOOTLEG／米津玄師
- 2 キーン グレイテスト・ヒッツ VOL.1／キーン
- 3 げんきげんきノンタン がんばるもん／香川豊監督
- 〃 ザ・ミラクル／キーン
- 〃 メアリと魔女の花／米林宏昌監督

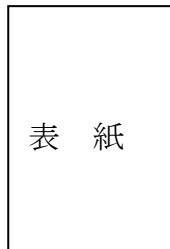
中央図書館から

本のソムリエ(司書)おすすめ本

一般書

『広辞苑をつくるひと』

三浦しをん 著／岩波書店



表紙

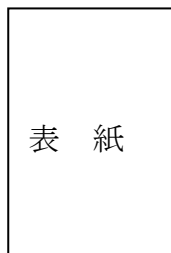
かつては200万部を超える発行部数のあった『広辞苑』も2018年に改訂発行された第七版は初版20万部からとのこと。調べるのはインターネットという時代、

それでも「広辞苑によれば～」と引用されることの多い国語辞典の作成現場を作家の三浦しをんさんが訪ね、仕事人を描いたルポエッセイ。【『広辞苑第七版』予約特典小冊子】

ヤング

『夜間中学へようこそ』

山本悦子／岩崎書店



表紙

「学校へ通いたい！」突然宣言した優菜の祖母。戦時中で学校へ行けず、未だ自分の名前も書けない祖母は、4月から学生として夜間中学で学ぶことになる。

しばらくの間送り迎えでつき合うことになった優菜。そこにはいろいろな国や年齢を超えた人たちが集まって学んでいた。最初は面倒くさがる優菜。しかし、祖母とともに夜間中学へ通っていくうちに、さまざまな事情で学ぶ学生たちと交流していく。

第160回芥川賞・直木賞決定!!

芥川龍之介賞

上田岳弘 『ニムロッド』 講談社

町屋良平 『1R1分34秒』 新潮社

直木三十五賞

真藤順丈 『宝島』 講談社

編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111

豊科図書館 ☎71-4022

三郷図書館 ☎76-3078

堀金図書館 ☎72-3601

明科図書館 ☎62-1122

(図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)

<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

※編集後記※
NHKEテレ日曜美術館「まだ見ぬ頂を目指して」山岳写真家田淵行男「」が放映されました。県立歴史館でも冬季展「自然を見つめた田淵行男」が17日まで開催中です。
ご覧になった方から、田淵行男記念館に問い合わせがたくさんあるそうです。
市図書館では、田淵の本を多数所蔵しており、豊科館にはコーナーもあります。